PHILIPS

フィリップス コーヒーメーカー

Essence　エッセンス

品番 HD 7634/22

取扱説明書

保証書付

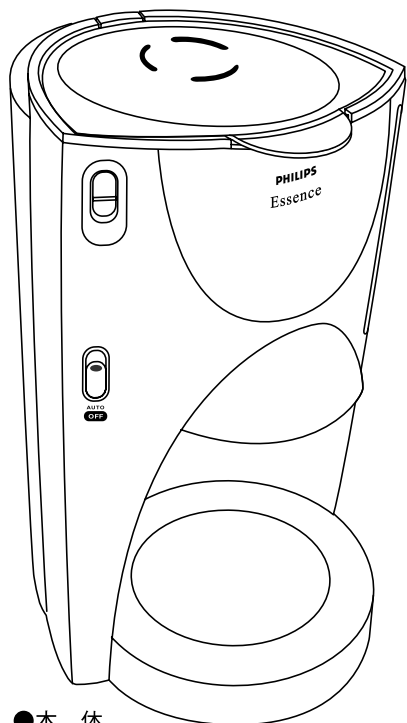
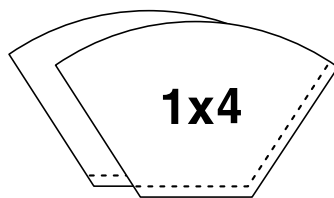
保証書は、この取扱説明書の裏側についておりますので記入を受けてください。

PHILIPS

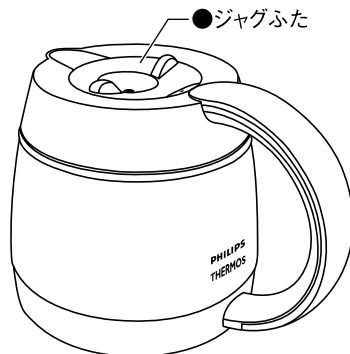
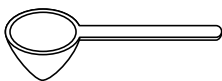
フィリップス・コーヒーメーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。長い間ご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

商品の確認

商品をご確認ください

●紙フィルター
（お買い求めの際は1×4、または103をご指定ください。）

●ジャグふた

●本　体

●ジャグ（ステンレス製）

●計量スプーン

※改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

目　次

商品の確認……………………………………………1
目　次 ……………………………………………2
必ずお守りください…………………………3·4

各部の名称……………………………………………5
準備 (湯通し)…………………………………………6
ご使用方法……………………………………………7·8
水量、コーヒー粉量…………………………………9
コーヒーの入れ方のコツ……………………………10
コーヒー豆の種類……………………………………10
お手入れのしかた……………………………………11

故障かな？と思ったら………………………………12

保証とアフターサービス……………………………13
交換用ジャグについて………………………………13
仕 様 ……………………………………………14
お客様情報センター…………………………………14
保証書……………………………………最終ページ

安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

●誤った取扱をしたときに想定される内容を「警告」と「注意」とに区分けしています。

○絵表示について

⚠警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。	⚠注意 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

○絵表示の例

・記号は、「危険、警告、注意」を示します。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）を示します。

・記号は、してはいけない「禁止」を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示します。

・記号は、必ずしていただく「強制」を示します。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）を示します。

⚠警告

●改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理しないでください。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店又はフィリップスお客様情報センターにご相談ください。

●定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

●電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

●交流100V以外では使用しないで下さい。火災・感電の原因となります。

●電源は交流100V専用コンセントを使用してください。火災・感電の原因となります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。

●電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。

●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがや火傷、絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります。

●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電やけがをすることがあります。

●電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

●子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。やけど・感電・けがをするおそれがあります。

●水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電のおそれがあります。

⚠注意

●湯口（蒸気口）に手を触れないでください。やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。

●使用中や使用後しばらくは、高温部に触れないでください。やけどの原因となります。

●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しないでください。

●壁や家具の近くで使わないでください。蒸気又は熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。

●お手入れは冷えてから行ってください。高温部に触れ、やけどのおそれがあります。

●抽出中にジャグ（ステンレス製）を外さないでください。やけどの原因になります。

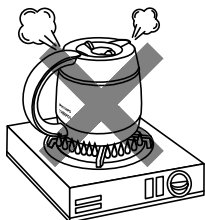
●ジャグ（ステンレス製）を載せたまま本体を動かさないでください。やけどやけがの原因になります。

●ジャグ（ステンレス製）なしで使わないでください。やけどすることがあります。

使　用　上　の　ご　注　意

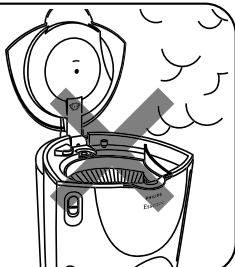
本製品は日本向仕様（100V専用）の為、電源・電圧の異なる海外でのご使用はできません。
また、アルカリイオン水やミネラルウォーターはご使用にならないでください。コーヒーメーカーのパイプ内部に鉱物成分等が付着し、故障の原因となります。

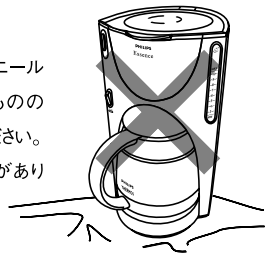
1

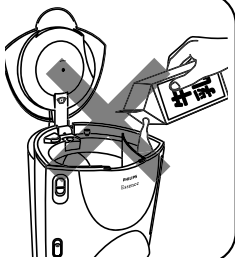
ジャグ（ステンレス製）を直接ガスや電子レンジで温めないでください。ジャグが割れたり、とっ手が変形したりします。

2

水タンクに水を残したまま放置しないでください。水の腐敗や、故障の原因になります。保管のときは、水を捨て約5分間通電し、内部の水分を取り除いてください。

3

水タンクふたは、湯や蒸気が完全に止まってから、開けてください。途中で開けると熱湯や蒸気が噴き出し、やけどをする恐れがあります。

4

たたみ、じゅうたん、ビニールクロスなど熱に弱いものの上では使用しないでください。色や形が変わることがあります。

5

水タンクの中には、熱湯、牛乳、酒など水以外のものはいれないでください。熱で水タンクが変形したり、本体内部がつまったりして故障の原因になります。

6

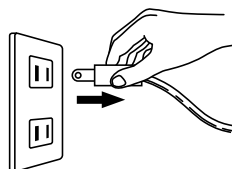
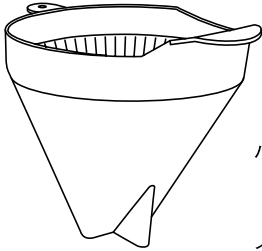
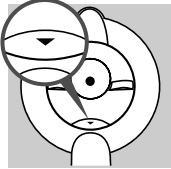
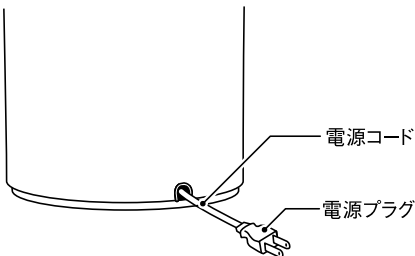
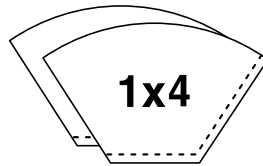
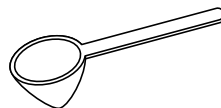
水タンクに水を入れずに長時間通電しないでください。空だきは、故障の原因になります。

7

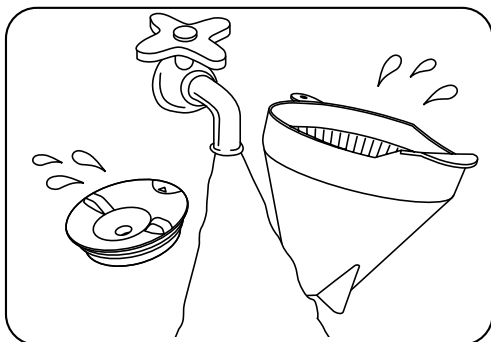
湯口(蒸気口)を持って、持ち運ばないでください。湯口部の変形、損壊の原因になります。持ち運ぶときは、ジャグに手を添え、本体の底を持ってください。

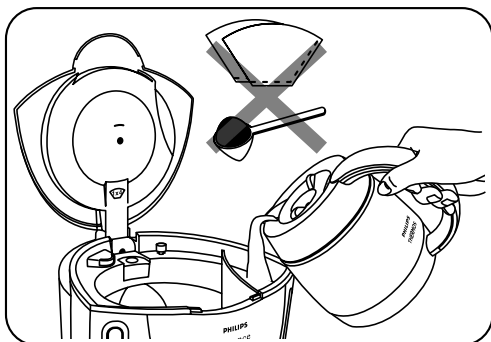
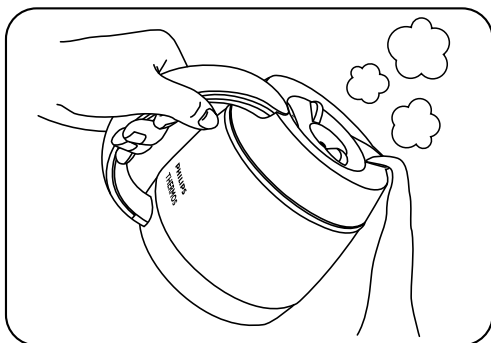
8

電源コードのプラグが異常に発熱する場合はプラグをぬき、電気店にご相談ください。

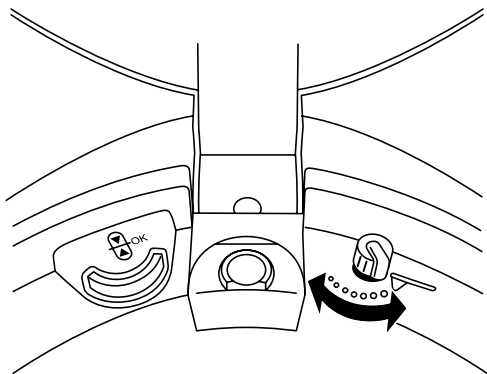
各部の名称

水タンク
ふた
湯口
（蒸気口）
ストレングス
コントロール
ストッパー
輸送時にバランスインジケーターを
固定するために使います。お使いに
なる前に取り外してください。
バランス調整
ダイヤル
バランス
インジケーター
電源スイッチ
通電中はパイロット
ランプが点灯します。
水タンク
お飲みになるカップ分
の水を入れます。
水量表示窓
PHILIPS
Essence
Balance
AUTO
OFF
フィルターホルダー
ジャグふた
PHILIPS
THERMOS
ジャグとっ手
ジャグ（ステンレス製）
ボトムプレート
使用直後は高温ですので
やけどにご注意ください。
コーヒー抽出時と
保温する時
コーヒーを注ぐ時
〈背面〉
電源コード
電源プラグ
〈付属品〉
1x4
紙フィルター
お買い求めの際は
1×4、または103を
ご指定ください。
計量スプーン
コーヒー粉量を計ります。
すりきり一杯の重さは
中びき粉約5gです。

準　備（湯通し）

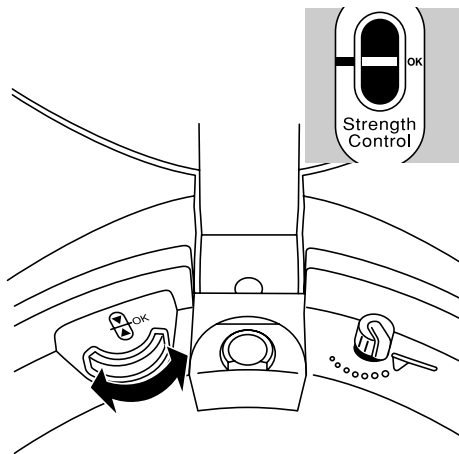
始めて本体をご使用になる時や、長い間ご使用にならなかった場合は、本体内部を洗浄するため、以下の手順で“湯通し”を行ってください。使用方法や取り外し方の詳細は、「ご使用方法」（P7、8）「各部の外し方」（P11）を参照してください。

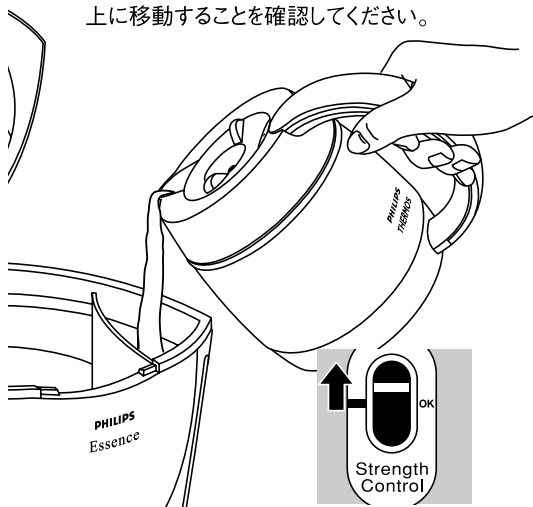
ジャグふた、フィルターホルダーを水洗いします。
ジャグは内部を水ですすぎ洗いしてください。
内部に水が入る可能性があるため絶対に水に浸さないでください。

水タンクに8カップ分の水を入れ、ジャグをセットし、フィルターホルダーに紙フィルターもコーヒー粉も入れずに電源スイッチを入れます。

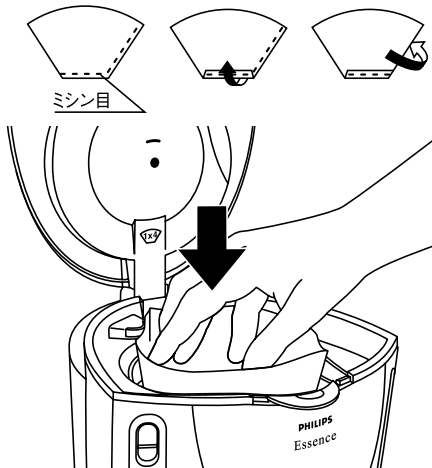
注意：コーヒー粉を入れずに8カップより多く水を入れると、ジャクからお湯があふれます。

全ての水がジャグに抽出し終わったら、湯は捨ててください。
また、ジャグふた・フィルターホルダーを再度水洗いし、ジャグポットは内部を軽くすすぎ洗いします。

ご使用方法

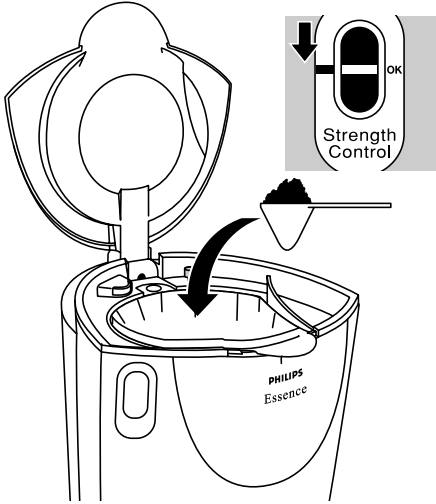
① ストレングス（粉の量）を調整します

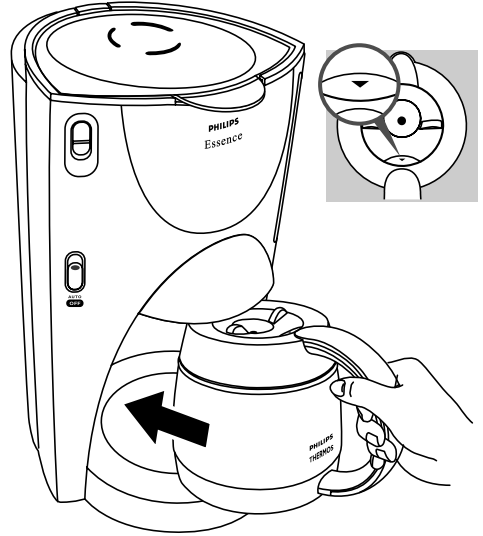
お好みによりコーヒー粉の量をつまみを回して調節します。向って右側にセットすると「濃いめ」、左側が「うすめ」のコーヒーになります。

バランス（9ページ参照）を調整します

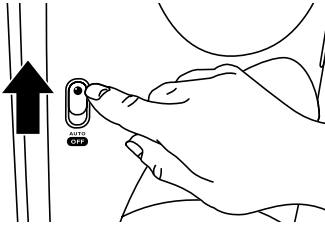
フィルターホルダーをセットします。
バランス調整ダイヤルを左右に回して、バランスインジケーターの白線を中央の印に調整して下さい。

③ 水タンクに水を入れます

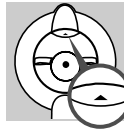
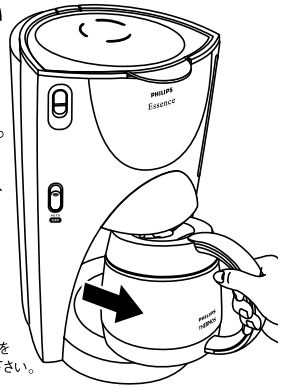
コーヒーのできあがり量の目安は、
9ページをご覧ください。
この時、バランスインジケーターの白線が
上に移動することを確認してください。

④ 紙フィルターをセットします

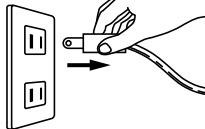
紙フィルターのミシン目部分を図のように折り曲げてから、フィルターホルダーにセットします。
フィルターは市販サイズ1×4、103をご使用ください。

⑤ コーヒー粉を入れます

バランスインジケーターの白線が
中央の印に合うまで、コーヒー粉を
入れてください。

⑥ ジャグをセットします

ジャグのふたをしっかり閉めてから、
確実にセットして下さい。

⑦ スイッチを入れます

電源プラグをコンセントに確実に
差し込み、スイッチの上側を押し
ます。通電中はパイロットランプ
が点灯します。

⑧ コーヒーができたら早めにお召し上がりください

コーヒーが抽出し終わると、
自動的にスイッチが切れ、
パイロットランプが消灯します。
コーヒーはジャグで保温され
ますが、お早めにお召し上が
りください。

ジャグからコーヒーを
注ぐときはふたの▲を
注ぎ口に合わせて下さい。

⚠ 注意

ご使用後は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

続けてコーヒーを作る場合

- 5分程お待ちください。
- 内部のヒーターが熱くなっていますので、水タンクに水を注ぐとすぐ湯が湯口から噴出することがありますので、注意してください。

コーヒーのできあがり量と水量・コーヒー粉量

（粉量はあくまで目安ですのでコーヒーの種類やお好みの味に合わせて加減してください。）

バランスインジケーターを使用する場合

●バランスインジケーター（コーヒー粉適量表示）を使用した場合、水タンクに水を入れるとバランスインジケーターの目盛りが上がります。
ストレングスコントロールで設定したコーヒーの味（濃いめ、うすめ）に対し、適切な量のコーヒー粉が入ると白線がOKポジションに移動します。

※バランスインジケーターを使用する場合、水タンクに水を注いでからコーヒー粉を入れてください。
※ストレングスコントロールはあくまで目安ですので、コーヒーの種類やお好みの味にあわせて量を加減してください。

付属の計量スプーンをお使いになる場合

●以下の目安を参考にしてください。
●タンク目盛は1カップ（120ml）に応じた水量表示になっています。
●粉の量は付属の計量スプーンで、すりきり一杯　＝1杯　約5g（中びき）

1カップ（約120ml）

粉の量 スプーンすりきり		できあがり量
	MAX	
15杯	10	10カップ
13.5杯	9	9カップ
12杯	8	8カップ
10.5杯	7	7カップ
9杯	6	6カップ
7.5杯	5	5カップ
6杯	4	4カップ
4.5杯	3	3カップ
	MIN	

コーヒーのできあがり時間（水温・室温・コーヒー粉の状態により多少変わります）

●コーヒーのできあがり量（MAX）：1.2L　約**7**分

コーヒーの入れ方のコツ

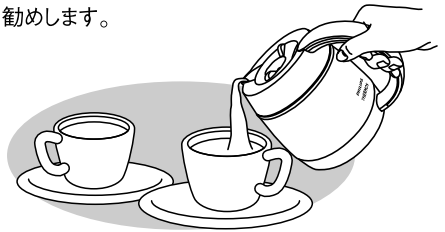
その1

新鮮なコーヒー豆を

コーヒー豆はできるだけ新しいものを、入れる直前に挽いて使うことがコツです。保存する場合は粉よりも豆のままで、密封容器に入れ冷蔵庫などで保存してください。

その2

器具は清潔に

水タンク、フィルターホルダー、ジャグ、ジャグふたなどはいつも清潔にしてお使いください。使う前に洗うことをお勧めします。

その3

コーヒーカップは温めて

あらかじめカップやジャグ内部をお湯で温めておくと、冷めにくく熱いコーヒーが召し上がれます。

その4

できあがったコーヒーは早めに

保温しすぎるとコーヒーの風味を失いますので、長時間の保温はできるだけ避けて、早めにお召し上がりください。

コーヒー豆の種類

コーヒーは産地によってそれぞれ特徴があります。
個々の味をそのまま楽しむことも、いくつかの種類を混ぜ合わせることもできます。下の表を参考に自分の好みの味をお探しください。

■代表的なコーヒー豆の種類と味の特長、及び産地

コーヒー豆の種類	産地	味の特長		
		酸味	普通	苦味
モカ	アラビア	○		
コロンビア	南米	○		
キリマンジャロ	南アフリカ	○		
ブラジル・サントス	南米		○	
サルバドル	中米		○	
ブルーマウンテン	ジャマイカ	○		
コスタリカ	中米	○		
ガテマラ	中米	○		
ジャワ・ロブスター	インドネシア			○
マウンテン	スマトラ			○
ハワイアン・コナ	ハワイ	○		

■代表的なミックス

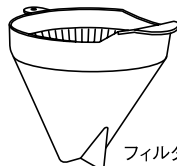
味の特長	焙煎の度合	配合するコーヒー豆とその配合
オーソドックスな配合	中煎り（シティ・ロースト）	モカ（30%）、コロンビア（30%）ブラジル（40%）
酸味を好む人向き	中煎り（シティ・ロースト）	モカ（50%）、コロンビア（30%）ブラジル（20%）
濃厚な味とコクを好む人向き	中煎り（シティ・ロースト）	モカ（30%）、ブラジル（30%）コロンビア（20%）、ガテマラ（20%）
苦味の中にも甘味を好む人向き	強煎り（フレンチ・ロースト）	モカ（30%）、コロンビア（30%）サルバドル（40%）

※ブルーマウンテンは味と香りを大切にするため、ストレートで召し上がることをお勧めします。

お手入れのしかた

必ず電源プラグをコンセントから抜いて、本体が冷えてからお手入れをしてください。
食器洗浄機や食器乾燥器などの使用はしないでください。変形する恐れがあります。

水洗いできます

ジャグふた　　ジャグ

計量スプーン

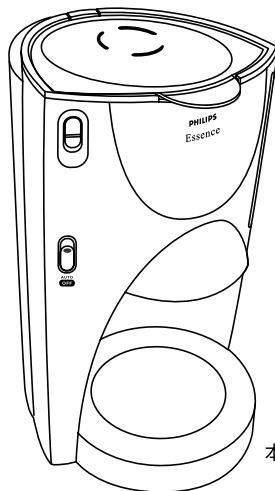
フィルターホルダー

本体から取り外しができる物は取り外した後、以下の方法で水洗いしてください。

●水ですすぎ洗いしてください。

●汚れがひどい場合は、中性洗剤を使用し、水またはぬるま湯で柔らかいスポンジを使用して軽く洗い、洗剤が残らないようにすすぎ洗いしてください。

●ジャグを水に浸さないでください。断熱部に水が入り保温できなくなります。

水洗いできません

本　体

●水タンクの汚れは内部に水を入れ、柄のついた柔らかいスポンジなどですすぎ洗いしてください。

●本体の汚れは、洗剤を浸した布を固くしぼってふき、洗剤が残らないように乾いた布でふき取ってください。

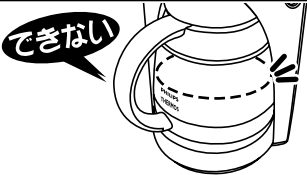
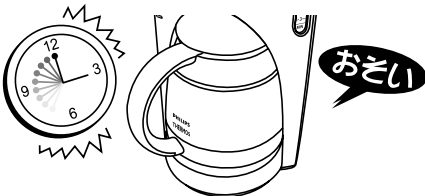
●本体は絶対に水をかけたり、水につけたりしないでください。感電や故障の原因になります。

ジャグについて

●ジャグはステンレス製ですので、倒したり落としたりすると、ステンレス表面に傷がついたりへこんだりすることがあります。取扱いにはご注意ください。
●ジャグ、ジャグふたを分解したりしないでください。湯もれ、破損の原因になります。
●ご使用後、保管する場合は外側・内側・ふたをよく乾燥させ、湿気のない場所で保管して下さい。
※ジャグは、2年間保証の対象外です。

シンナー、ベンジン、ベンゾール、ミガキ粉、たわしなどを使用しますと変形、変色、変質したり表面にキズが付いたりしますのでおやめください。

故障かな？と思ったら、お調べください。

こんなときは…	お調べください
ドリップ（抽出）ができない（コーヒーができないとき）	●水タンクに水を入れ忘れていませんか？ ●フィルターホルダーは正しくセットされていますか？ ●ジャグのふたをしていますか？ ●ジャグは正しくセットされていますか？
コーヒーがあふれるとき	●ジャグふたを忘れていませんか？ ●ジャグを入れ忘れていませんか？ ●正しいサイズの紙フィルターが正しくセットされていますか？ ●コーヒー粉を入れすぎていませんか？
コーヒーがぬるいとき	●ジャグのふたをしっかり閉めていますか？ ●抽出前にジャグの内部をお湯で温めておくとさめにくくなります。 ●コーヒーの抽出量が少ないと、さめるのが早くなります。
コーヒーのできあがりが異常に遅いとき	●コーヒーメーカーのパイプの内部に水の鉱物成分がつまっていることがあります。 かすを取り除いたレモン1個分の搾り汁を水タンクに入れ、水量表示窓の目盛りが8カップになるまで水を注ぎます。紙フィルターやコーヒー粉を使わずに湯通しをして、つまりを取り除いてください。その後、レモンのにおいを取り除くため、2度程水だけで湯通しをします。つまりがひどい場合、上記の操作を何度か繰り返します。

できない

ぬるい

おそい

以上の処置により、正常な状態に戻らない場合はお買い求めの販売店かお客様情報センターにお問い合わせ願います。

保証書と修理サービスについて(必ずお読みください)

〈保証書・最終ページに付属〉

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

保証期間……お買上げ日から2年間

【補修用性能部品の最低保有期間】

●補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。

●性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【ご不明な点や修理に関するご相談は】

●修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「お客様情報センター(14ページに記載)」にお問い合わせください。

【修理を依頼されるときは】

●修理をご依頼されるまえに、この取扱説明書をよくお読みください。また、12ページの処置後も尚異常のあるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店へご依頼ください。

【保証期間中は】

●修理に際しましては保証書をご提示ください。

●保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

【保証期間が過ぎているときは】

●修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

【海外での保証及びアフターサービスについて】

●フィリップス製品の保証は海外においても有効です。

●日本国以外のフィリップスサービス部門においても保証期間内及び保証期間の経過後のアフターサービスを受けることができますが、この場合多少日数を要することもあります。

●海外にてアフターサービスを受けられる場合は、現地の弊社サービス部門にお問い合わせください。
尚お困りの点がございましたら下記までご連絡ください。

Philips Domestic Appliances and Personal Care BV.
Service Department
Oliemolenstraat 5
P.O. Box 20100
9200 CA Drachten, The Netherlands
Fax: +31 51 259 2785

注記:本製品は日本向仕様(100V専用)のため、電源・電圧の異なる海外ではご使用できません。

●交換用ジャグのご購入はお買い求めの販売店にお申し込みください。

●このコーヒーメーカーの交換用ジャグ(ステンレス製)の型番は次頁の「仕様欄」の通りです。

●また、本体の品質表示ステッカーにも交換用ジャグの型番が記載されておりますので、ご購入の際にご利用ください。

便利メモ

お買い上げ日	年　月　日	お買い上げ店名	TEL.（　　）

ご使用の時このような症状はありませんか？

●本体にさわると時々電気を感じる。
●こげくさい臭いがする。
●コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●その他の異常、故障がある。

このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントからはずして、必ず販売店にご相談ください。

仕　様

品番	HD7634/22
本体色	ブラック
電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	1400W
温度ヒューズ	298℃
最大水容量	1.32L
付属品	計量スプーン／紙フィルター
本体寸法（幅×奥行×高さ）	20.6×30.4×35.5cm（ジャグ含む）
本体質量	2.2kg（ジャグ含む）
交換用ジャグ型番	HD7967/22

●フィリップス製品の修理受付はお買い上げの販売店がいたします。
●修理サービス等についておわかりにならないことは、下記にお問い合わせください。

フィリップス家電事業部

日本販売総代理店
小泉成器株式会社
〒541-0051　大阪市中央区備後町3-3-7

お客様情報センター（全国共通）　ナビダイヤル.0570(07)6666

ホームページアドレス http://www.philips.co.jp/

フィリップスコーヒーメーカー保証書 持込修理

CERTIFICATE OF PURCHASE

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、
お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品名	コーヒーメーカー	品番	HD7634/22
保証期間	お買い上げ日より2年	対象部分	本体（ジャグは除く）
お買い上げ日	年　月　日		
お客様	ご住所 〒		
	ご芳名	電話番号	
★ 販売店	販売店・住所・電話番号		

★ ご販売店様へ　この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。
贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、フィリップスお客様情報センターにご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   ②お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
   ③火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
   ④一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用）に使用された場合の故障及び損傷。
   ⑤本書の提示がない場合。
   ⑥本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或は字句を書き換えられた場合。
6. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
7. 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

＊この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはフィリップスお客様情報センターにお問い合わせください。

＊保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

フィリップス家電事業部

日本販売総代理店
小泉成器株式会社
〒541-0051大阪市中央区備後町3-3-7

お客様情報センター
ナビダイヤル 0570-07-6666（全国共通）

4222 001 94902